

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

08年2月は、市場全体が下げ基調の中、グロースが有効

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月比 0.67%上昇した。市場全体が下げ基調の中、有効なスタイルはグロースであった。リビジョン・インデックスは先月より低下して-22.09となった。

- ▶ 【グロースが優勢】2008年2月の Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比 0.67%の上昇を示した。Russell/Nomura Total Value 指数と Russell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-1.78%となり、先月から一転してグロースが優勢であった。
- ▶ 【リビジョン・インデックスは-22.09】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは先月より低下して-22.09 となり、4 カ月連続でマイナスとなった。
- ▶ 【鉱業、卸売業のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンでは鉱業、卸売業が上位であった。一方、最もパフォーマンスが悪かったのは不動産業であった。
- ▶ 【三菱商事（8058）などの寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、三菱商事（8058）が最上位、次いで三井物産（8031）となっている。一方、マイナス寄与度は三菱 UFJ フィナンシャルグループ（8306）が最も高かった。

2008年3月4日
クオンツレポート

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	コア 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	割安 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.90	割安 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	市場 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券
金融工学研究センター

片山 智代
石毛 洋子
田村 浩道

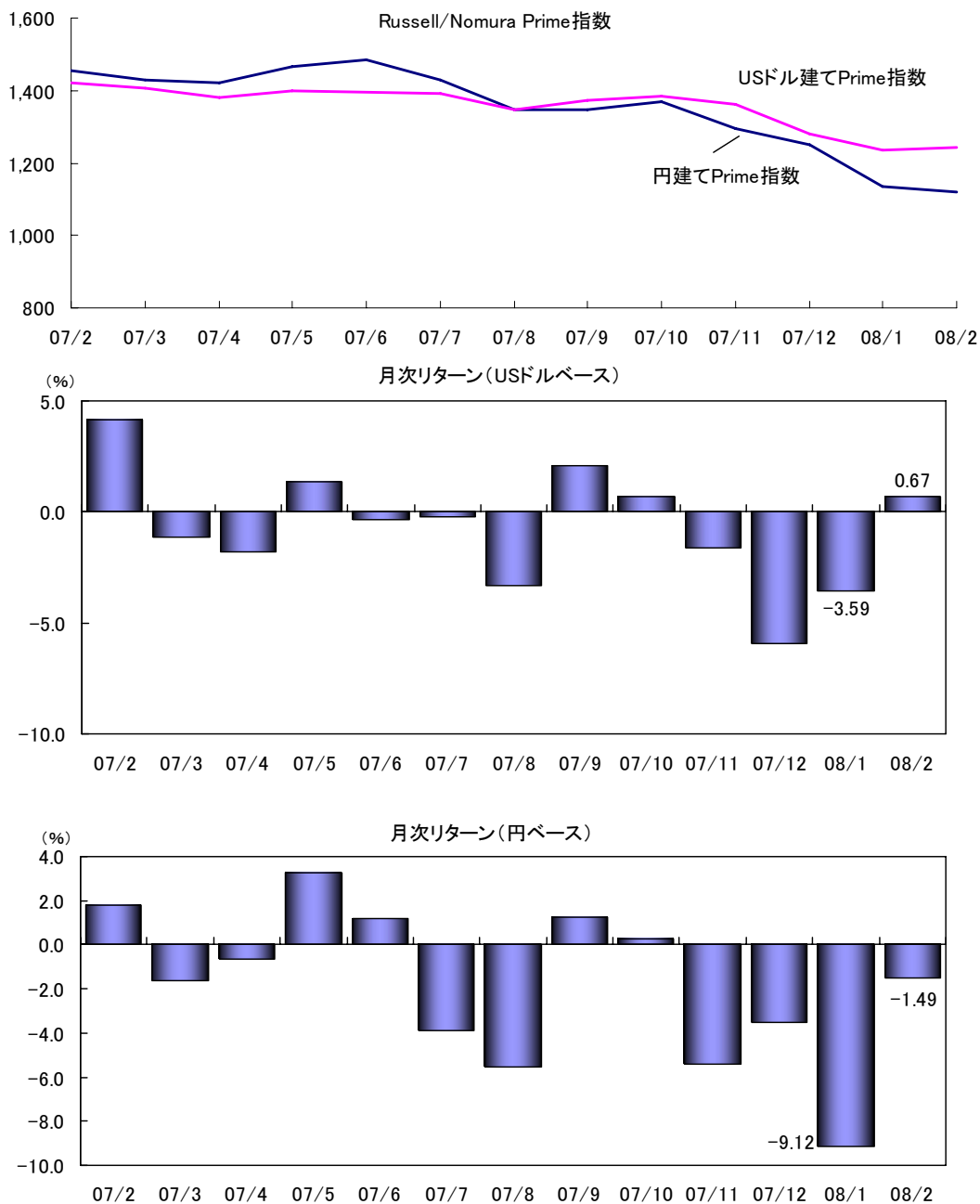
03-3274-1079
katayama-1q31@jp.nomura.com

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

08年2月のPrime指数(米ドル建て)は、0.67%の上昇

2008年2月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比0.67%の上昇となり、11月末より続いたマイナス傾向から4カ月ぶりにプラスに転じる結果となった。ただし、円建てベースでは、前月比1.49%の下落であった。2008年2月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2008年1月末時点の106.63円から、104.34円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

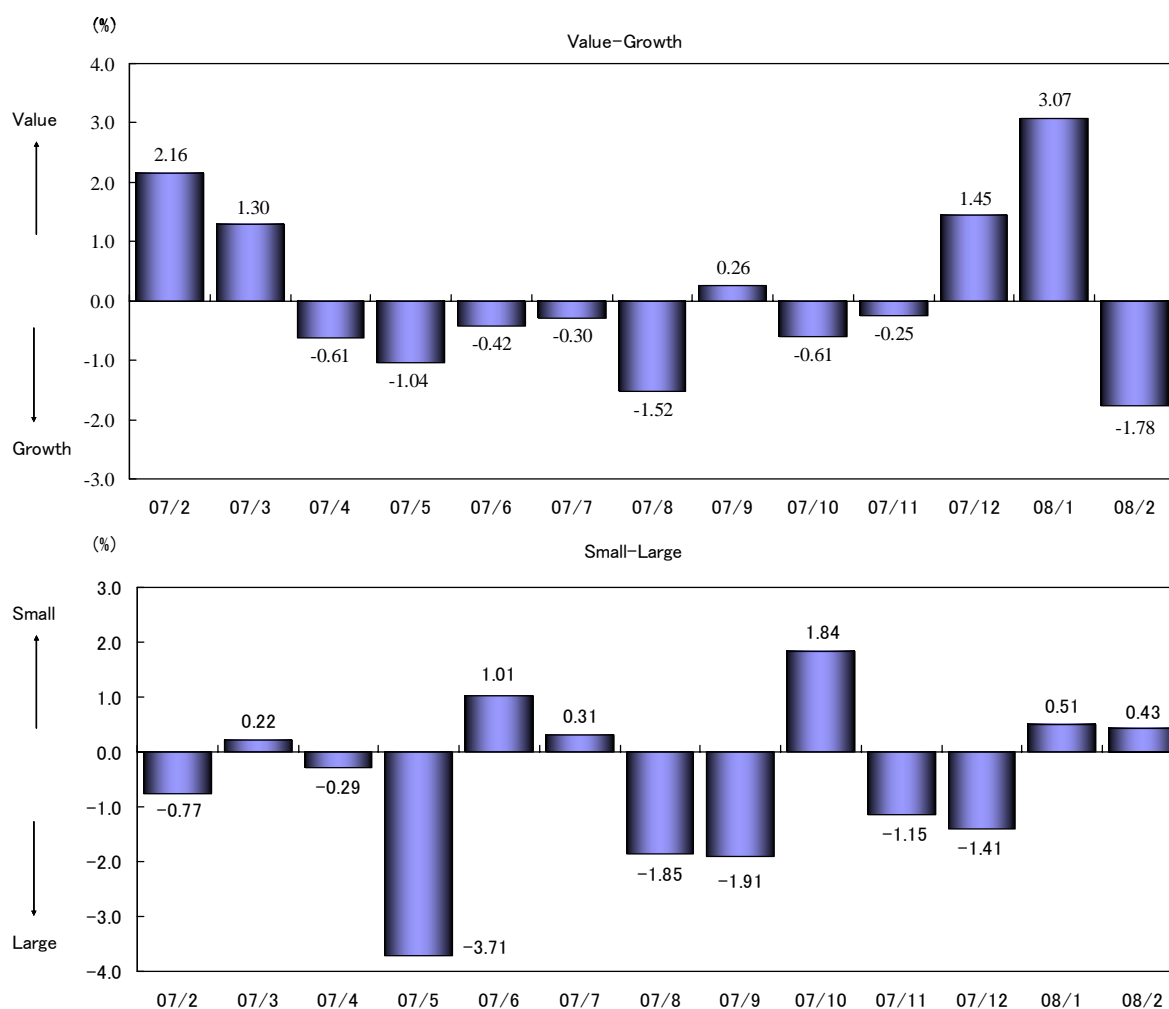
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

グロースが優勢

図表 2 は、スタイル別のリターン・スプレッドの月次推移を示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリュース株）、成長（大型・グロース株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

2008 年 2 月のスタイル別のパフォーマンスでは、相対的に見ればグロース株と小型株の下げ幅が小さかった（図表 3）。バリュー・グロースの比較で見ると、バリュース株が 2.29% の下落に対し、グロース株は 0.51% の下落に留まった。バリュース株とグロース株のリターン・スプレッドは、先月から一転して 1.78% のマイナスとなり、このグロース有意の水準は 2006 年 1 月以降最大であった。小型株と大型株のリターン・スプレッドは 0.43% となった（図表 2）。しかし、コア（時価総額上位 50%以上）も Prime 指数をアウトパフォームしていることから（図表 3）、Russell/Nomura Mid Cap のパフォーマンスが思わしくなかったと推測される。

図表 2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	

投資スタイルと対応指数

市場	Russell/Nomura Prime
コア	Russell/Nomura Top Cap
割安	Russell/Nomura Large Cap Value
成長	Russell/Nomura Large Cap Growth
小型	Russell/Nomura Small Cap

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

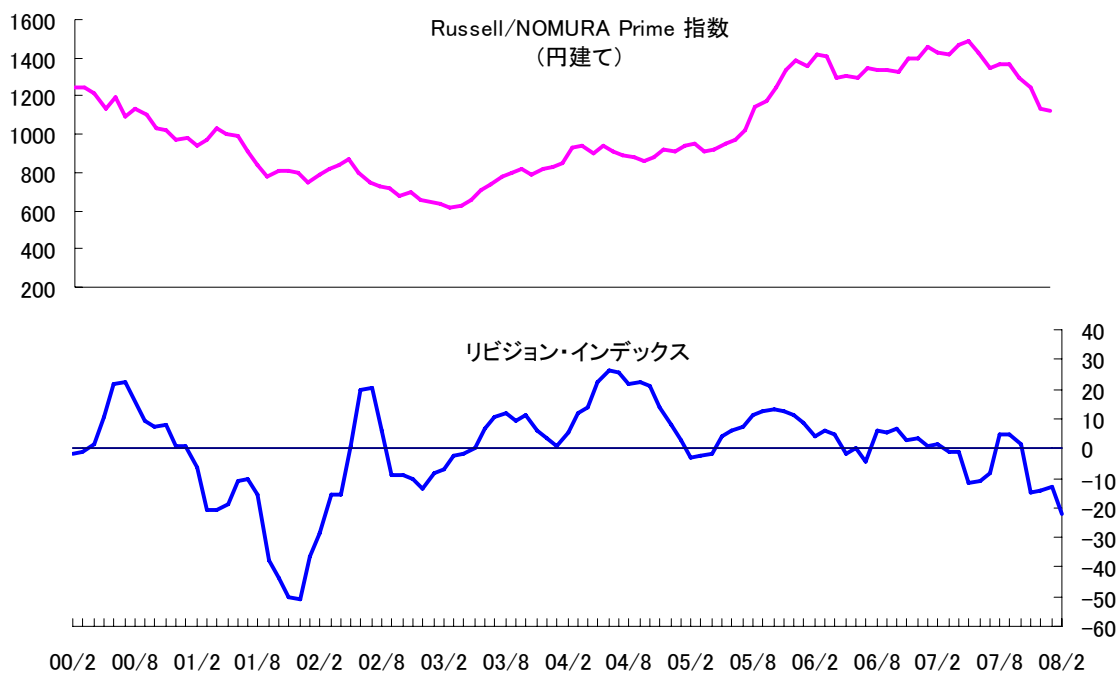
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは-22.09と、4ヶ月連続でマイナス

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2008年2月は先月より低下し、-22.09となった。これは、2002年3月以降最低の水準である。上方修正銘柄数が232銘柄、下方修正銘柄数が496銘柄となり、4カ月連続で上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を下回る結果となった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2008年02月	-22.09	232	496
2008年01月	-13.05	317	498

（注）リビジョン・インデックスとは、（上方修正銘柄数－下方修正銘柄数）／有効銘柄数×100で算出される業績の修正動向を示す指数である。2008年2月の有効銘柄数は1195銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

（出所）野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

鉱業、卸売業が良好

2008年2月は、Prime 指数において、鉱業や卸売業の月次パフォーマンスが良好なパフォーマンスを見せた。また、4ヶ月ぶりに上位10業種の月次パフォーマンスがプラスとなった。一方、パフォーマンスの悪化が目立った業種は不動産業、建設業、銀行業などであった。先月に引き続き、上位と下位の業種が入れ替わる傾向が見られた。(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位10業種)

指数	Prime	-1.49	Large Value	-2.39	Large Growth	-0.63	Small	-1.08
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 鉱業	17.00	海運業	13.49	非鉄金属	21.76	海運業	12.70
	2 卸売業	10.43	卸売業	9.10	鉱業	17.82	鉄鋼	10.97
	3 海運業	9.64	鉄鋼	6.31	卸売業	12.73	鉱業	10.07
	4 非鉄金属	9.12	証券・商品先物取引業	6.12	海運業	9.04	ガラス・土石製品	5.78
	5 証券・商品先物取引業	5.46	食料品	4.57	石油・石炭製品	6.61	非鉄金属	3.25
	6 機械	2.34	その他製品	2.93	証券・商品先物取引業	6.44	卸売業	2.19
	7 電気機器	1.79	空運業	2.84	電気機器	3.92	その他製品	1.69
	8 石油・石炭製品	1.61	倉庫・運輸関連業	2.18	機械	3.24	サービス業	1.67
	9 空運業	1.52	小売業	2.10	金属製品	2.15	証券・商品先物取引業	1.51
	10 その他製品	1.08	機械	1.81	空運業	0.92	精密機器	1.42
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 不動産業	-12.06	不動産業	-19.22	ゴム製品	-13.24	ゴム製品	-9.35
	2 建設業	-8.51	建設業	-13.76	不動産業	-13.07	パルプ・紙	-7.69
	3 銀行業	-7.58	情報・通信業	-8.71	繊維製品	-10.27	銀行業	-7.31
	4 水産・農林業	-6.42	精密機器	-8.59	小売業	-9.92	倉庫・運輸関連業	-6.84
	5 繊維製品	-5.80	銀行業	-7.55	その他金融業	-9.62	電気・ガス業	-6.82
	6 ゴム製品	-5.52	その他金融業	-6.14	銀行業	-7.79	水産・農林業	-5.92
	7 医薬品	-5.15	ゴム製品	-4.31	鉄鋼	-7.22	小売業	-5.59
	8 その他金融業	-4.90	繊維製品	-4.22	ガラス・土石製品	-6.88	不動産業	-4.24
	9 倉庫・運輸関連業	-4.66	金属製品	-4.08	医薬品	-6.13	金属製品	-3.24
	10 鉄鋼	-4.57	ガラス・土石製品	-3.86	保険業	-5.24	石油・石炭製品	-2.55

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度上位は、三菱商事 (8058)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、三菱商事 (8058) が 0.204%と最も高い寄与度を示した。同銘柄の月次リターンは前月比 17.63% となり、業種全体のパフォーマンスにも貢献した。次いで高い寄与度を示したのは、三井物産 (8031) であった。上位銘柄は業種全体のパフォーマンス改善にも貢献した。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、三菱 UFJ フィナンシャルグループ (8306) であった。同銘柄の寄与度は 0.247%のマイナス、月次リターンは前月比-8.42%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

		Prime: -1.49%		Top: -1.33%			
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)		
上位銘柄	1	8058 三菱商事	0.204	17.63	8058 三菱商事	0.387	17.63
	2	8031 三井物産	0.104	9.65	8031 三井物産	0.197	9.65
	3	5713 住友金属鉱山	0.095	29.75	5713 住友金属鉱山	0.180	29.75
	4	7751 キヤノン	0.094	5.24	7751 キヤノン	0.178	5.24
	5	6502 東芝	0.073	11.00	6502 東芝	0.139	11.00
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	-0.247	-8.42	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	-0.468	-8.42
	2	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.159	-10.44	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.301	-10.44
	3	4502 武田薬品工業	-0.158	-9.15	4502 武田薬品工業	-0.299	-9.15
	4	9432 日本電信電話	-0.158	-10.63	9432 日本電信電話	-0.299	-10.63
	5	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.143	-7.88	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.271	-7.88

		Large-V: -2.39%		Large-G: -0.63%		Small: -1.08%				
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)			
上位銘柄	1	8058 三菱商事	0.123	17.63	8058 三菱商事	0.351	17.63	8572 アコム	0.062	16.03
	2	7011 三菱重工業	0.122	14.71	8031 三井物産	0.222	9.65	9706 日本空港ビルデング	0.059	32.91
	3	8604 野村ホールディングス	0.117	7.12	5713 住友金属鉱山	0.221	29.75	9684 スクウェア・エニックス	0.053	15.08
	4	6764 三洋電機	0.094	57.04	7751 キヤノン	0.218	5.24	5423 東京製鐵	0.049	20.78
	5	6762 TDK	0.054	11.50	6502 東芝	0.170	11.00	7915 日本写真印刷	0.048	25.35
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャルグループ	-0.572	-8.42	4502 武田薬品工業	-0.367	-9.15	6965 浜松トニクス	-0.064	-13.08
	2	9432 日本電信電話	-0.366	-10.63	5401 新日本製鐵	-0.271	-12.23	2875 東洋水産	-0.057	-15.94
	3	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.340	-10.44	8830 住友不動産	-0.226	-30.10	1332 日本水産	-0.053	-22.26
	4	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.226	-7.88	9433 KDDI	-0.178	-10.86	7453 良品計画	-0.052	-14.57
	5	6758 ソニー	-0.185	-4.41	8802 三菱地所	-0.175	-7.45	4544 みらかホールディングス	-0.045	-15.07

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

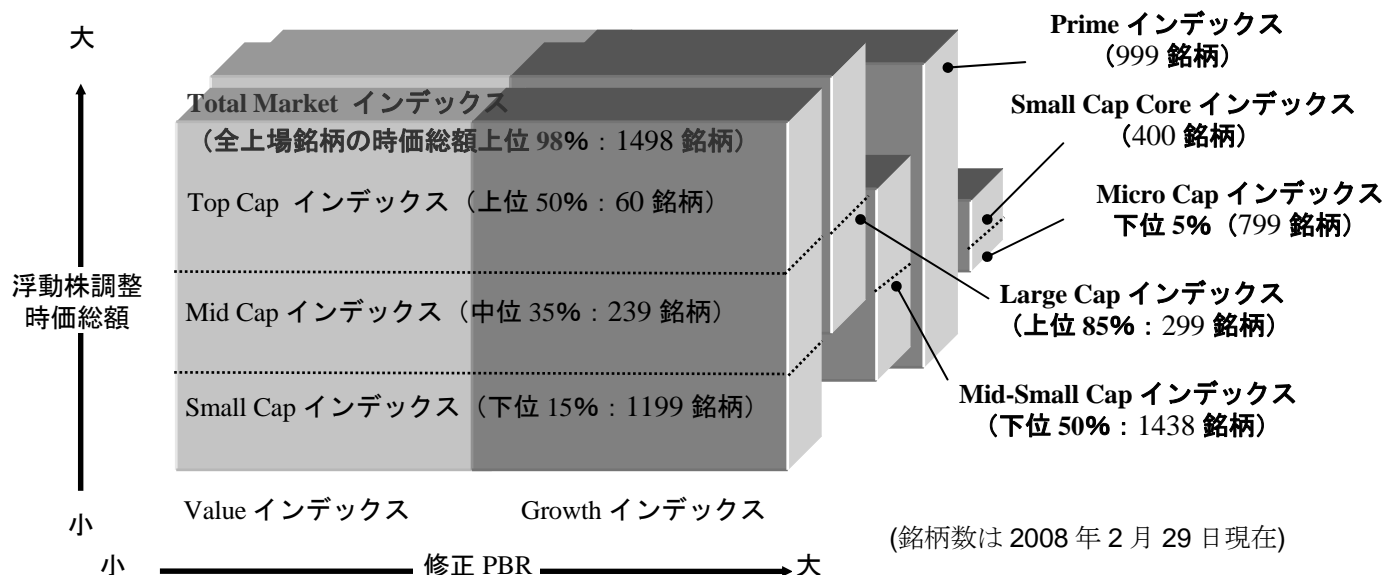
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200707.pdf
をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

< **NOMURA Global Quantitative Research** >

< **東京** > **野村証券 金融工学研究センター**

東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット大手町ビル

Tel: (81) 3-3274-0924

Fax: (81) 3-3274-0089

< **ロンドン** > **Nomura International plc**

Quantitative Research Department

1 St Martin's-le-Grand, London EC1A 4NP, UNITED KINGDOM

Tel: (44) 20-7521-2000

Fax: (44) 20-7521-3676

< **ニューヨーク** > **Nomura Securities International, Inc.**

Quantitative Research Department

2 World Financial Center, Building B, New York, NY 10281-1198, USA

Tel: (1) 212-667-9300

Fax: (1) 212-667-1058

< **香港** > **Nomura International (Hong Kong) Limited**

Asia Research Division

Asia Quantitative Research Department

30/F Two International Finance Centre, 8 Finance Street, Central, Hong Kong

Tel: (852) 2536-1111

Fax: (852) 2536-1786